



新年のご挨拶

長岡労働基準協会
協会長 結城 裕之



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでお慶び申し上げます。

会員の皆様には、旧年中、当協会の事業運営にあたり、格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年、国内では元日早々の能登半島地震発生により、新潟県内においても液状化などの大きな被害が発生いたしました。偶然にも中越地震から20年目となる年でしたが、年初から災害に対する日頃の備えの重要性をあらためて痛感させられることとなりました。

また経済面では、米国のインフレ懸念の落ち着きや、生成AIといった新分野への半導体需要増加などを背景に、7月に日経平均株価はバブルの最高値を上回る、4万円台の最高値を付けました。

半面、円安や世界情勢の緊迫度が増していること等を要因として諸物価の高騰が続いており、高齢化と人手不足も重なって、地域によっては交通インフラの維持にも影響が出てくるなど、事業活動にとってマイナスとなるような事象も多く発生してきている状況です。このような激しい環境変化の中で、労働者にとっては、日々のストレス度合いもこれまで以上に高まっていくものと思われます。

近年、人的資本経営という言葉をよく耳にいたしますが、労働者の方の心身両面の健康があってこそ成り立つものと思います。安心安全で健康に働くことができる職場づくりがその第一歩となると思います。安全な職場環境を作るための事業者への支援については、労働局をはじめとした各行政機関がバックアップしております。当協会としても長岡労働基準監督署のご指導のもと、各種講習会の充実と有益な情報提供を継続してまいりますので、会員の皆様におかれましては、ご活用いただき、引き続き労働環境の整備を推進していただきたくお願い申し上げます。

今年は巳年・・・再生と誕生を意味する年と言われており、力を蓄えていたものが芽を出す年との言い伝えもあります。これまでの会員各位のご努力が実を結ぶ年になることを期待しております。

末筆となりますが、会員の皆様方の事業の益々のご発展、そして労災事故のない安全な1年となることを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年度 年末年始無災害運動

実施期間 2024年12月1日～2025年1月15日

今年もやります！基本作業の徹底 年末年始も無災害

《長岡労働基準協会：公式ホームページ》 <https://www.ngk-roukikyo.net>

(本年も皆様のご要望にお応えできますよう、より一層の情報提供クオリティ及び速報性向上に努めてまいります)

発行編集者：長岡労働基準協会 事務局長

新年のご挨拶

長岡労働基準監督署
署長 寺嶋 茂



新年あけましておめでとうございます。

長岡労働基準協会の会員事業場の皆様方におかれましては穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より労働災害防止など労働基準行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、「働き方改革」の総仕上げとして、これまで時間外労働の上限規制の適用が猶予されてきた建設業、自動車運転者の業務、医師の業務等についても、4月1日からそれぞれの業務等に応じた新たな上限規制のルールが適用され、マスコミ等では「2024年問題」と報道され国民の関心の高さがうかがわれました。依然として燃料・原材料価格の高騰やドル/円レートの急激な変動などがリスク要因として見過ごせないところであり、国内外の政治状況の変化も相まって先行き不透明感がぬぐえないことと御推察申し上げます。

さて、令和6年は第14次労働災害防止計画（第14次防）の2年目でありましたが、当署における休業4日以上（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）の死傷者数は、速報値ながら10月末現在、257件、前年同期比-5.5%（-15件）、「その他の事業」を除く業種で減少しました。

また、当署管内では、昨年（10月末時点）残念ながら2名の方が労働災害でお亡くなりになられています。新潟労働局及び長岡労働基準監督署では、新潟県全体の死亡災害が令和5年の発生件数を超えたことを受け、11月を「新潟県労働災害防止緊急強化期間」に設定し、労働災害防止の徹底を図ったところです。

事故の型別では、令和5年に引き続き「転倒（78件）」が最多となっており、冬季の事業場内の玄関、屋外通路、駐車場内の積雪、凍結等により発生しているところから、当署では、令和6年12月から令和7年2月までを運動期間として「冬季無災害運動推進」に取り組んでいるところですので、翌日、氷点下まで冷え込む前日には労働者への注意喚起をお願いいたします。

会員事業場の皆様方には、労働者の高齢化や担い手不足といった困難な課題を抱えつつ、「働き方改革」の推進や労働災害防止に取り組むことが厳しい状況であると認識しておりますが、そうした状況であるからこそ、安全で健康な職場の実現が貴重な担い手の確保、育成や定着へとつながっていくものと確信しております。

結びに、貴会並びに会員事業場の皆様の益々の御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。本年につきましても、引き続き当署の施策推進に御支援賜りますようお願いいたします。